

工学研究科 学位論文審査基準

博士前期課程 [修士論文]

1. テーマの妥当性：研究目的が明確で学術的・社会的意義を有すること
2. 独創性：新規性又は独創性を有していること
3. 研究方法の妥当性：目的達成のため合理的な研究方法を実践していること
4. 先行研究との関連：先行研究を調査し、研究の位置づけを明らかにしていること
5. 明確性と論理性：論文全体にわたり論旨が明確で一貫しており議論の展開に論理性があり、目的に対応した結論が導き出されていること。論文発表会での発表と質疑に対する応答が、論理的かつ明解に行われたこと
6. 倫理性：研究倫理を守っていること
7. 形式の妥当性：執筆要領に従っていること

博士後期課程 [博士論文]

1. テーマの妥当性：研究目的が明確で学術的・社会的意義を有すること
2. 独創性：研究の根幹部分において、当該分野の進展に大きく貢献できる新規性又は独創性を有していること
3. 研究方法の妥当性：目的達成のため適切な研究方法を実践していること
4. 先行研究との関連：先行研究を十分調査して研究動向を俯瞰的に評価し、研究の位置づけを明らかにしていること
5. 論理的説明：論文全体にわたり論理的で明快に記述され、目的に対応した結論が導き出されていること。また、公開の場での論文内容の発表と質疑に対する応答が、論理的かつ明解に行われたこと。
6. 倫理性：研究倫理を守っていること
7. 形式の妥当性：執筆要領に従っていること

以上